



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス
コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉

TEL 078-303-5121

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	13,078	—	1,897	—	1,971	—	754	—
23年9月期第1四半期	13,136	—	1,752	—	1,765	—	961	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 758百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 976百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	19.04	—
23年9月期第1四半期	23.27	—

※平成23年3月22日持株会社設立に伴い、前期平成23年9月期(平成23年3月22日～平成23年9月30日)は6ヶ月間の変則決算となりました。このため、平成24年9月期第1四半期(平成23年10月1日～平成23年12月31日)と比較対象となる平成23年9月期第1四半期(平成23年3月22日～平成23年6月21日)は、期間と季節が異なるため対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	81,771	47,600	58.2
23年9月期	87,427	51,595	59.0

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 47,564百万円 23年9月期 51,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	36.00	36.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,600	—	1,500	—	1,600	—	800	—	19.36
通期	49,500	—	3,400	—	3,700	—	2,000	—	48.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成23年3月22日持株会社設立に伴い、前期平成23年9月期(平成23年3月22日～平成23年9月30日)は6ヶ月間の変則決算となりました。このため、平成24年9月期(平成23年10月1日～平成24年9月30日)と比較対象となる平成23年9月期(平成23年3月22日～平成23年9月30日)は、期間が異なるため連結業績予想における第2四半期(累計)及び通期の対前年増減率は記載していません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	37,442,840 株	23年9月期	41,322,860 株
24年9月期1Q	39 株	23年9月期	20 株
24年9月期1Q	39,635,864 株	23年9月期1Q	41,322,857 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 追加情報	10
(6) セグメント情報	11
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）

	当第1四半期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
化粧品事業	9,571	73.2
医薬・食品事業	3,354	25.6
その他の事業	152	1.2
売上高計	13,078	100.0

	当第1四半期	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)
営業利益	1,897	14.5
経常利益	1,971	15.1
四半期純利益	754	5.8

当第1四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災後、企業活動及び個人消費の落ち込みを経て緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、急激な円高や欧州財政問題による景気の減速懸念が深刻化してきており、先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが主に事業を展開する化粧品市場におきましては、緩やかな回復基調に転じているものの、低価格志向型の消費が継続するなど依然として厳しい環境が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,078百万円、営業利益は1,897百万円、経常利益は1,971百万円となりました。四半期純利益は、税制改正により繰延税金資産取り崩しの影響で法人税等調整額が増加したことなどにより754百万円となりました。

化粧品事業におきましては、カウンセリング化粧品では、レッスン型サロン「ノエビアビューティスタジオ」の展開を加速しました。セルフ化粧品では、主要ブランドのTVCMや店頭プロモーションの強化により認知拡大を図りました。その結果、化粧品事業の売上高は9,571百万円となりました。

医薬・食品事業におきましては、栄養補助食品の新商品が堅調に推移しました。その結果、医薬・食品事業の売上高は3,354百万円となりました。

その他の事業におきましては、航空関連事業が景気減速の影響を受けました。その結果、その他の事業の売上高は152百万円となりました。

なお、カウンセリング化粧品は、「基礎化粧品フェア」（冬、夏各2ヶ月間）を実施するため、当四半期（10月1日～12月31日）の売上高及び利益の比重が高くなる傾向にあります。

(参考)

	㈱ノエビア(連結) 第41期 第1四半期 (平成22年9月21日～平成22年12月20日)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)
売上高	13,131	100.0
営業利益	1,413	10.8
経常利益	1,509	11.5
四半期純利益	743	5.7

(参考情報について)

当社は、株式会社ノエビアの単独株式移転により平成23年3月22日に持株会社として新たに設立されたため、対前年増減率の記載はしておりません。

つきましては、前年実績の比較参考情報として、当第1四半期と同期間に相当する株式会社ノエビアの第41期第1四半期連結累計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日)の業績を掲載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,656百万円減少し、81,771百万円となりました。主に、現金及び預金が4,923百万円、商品及び製品が755百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,661百万円減少し、34,171百万円となりました。主に、流動負債(その他)が1,060百万円、長期預り保証金が275百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,994百万円減少し、47,600百万円となりました。主に、自己株式の消却によって資本剰余金が3,325百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は58.2%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末の36,148百万円に比べ4,920百万円減少し、31,228百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は316百万円となりました。法人税等及び預り源泉税の支払前のキャッシュ・フローは1,663百万円の増加であり、法人税等及び預り源泉税の支払額が1,979百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は67百万円となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出65百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は4,624百万円となりました。これは、自己株式の取得による支出3,325百万円及び配当金の支払額1,299百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月9日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結累計財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,674,720	33,751,599
受取手形及び売掛金	10,579,759	11,810,761
商品及び製品	6,202,007	5,446,338
仕掛品	300,999	137,223
原材料及び貯蔵品	1,446,797	1,316,297
繰延税金資産	1,524,090	1,485,184
未収入金	2,698,721	2,567,574
その他	405,175	419,727
貸倒引当金	△76,378	△70,812
流動資産合計	61,755,894	56,863,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,666,478	5,329,692
機械装置及び運搬具(純額)	877,414	1,144,945
土地	13,881,827	13,787,327
リース資産(純額)	24,490	36,655
建設仮勘定	1,384	—
その他(純額)	332,757	297,760
有形固定資産合計	20,784,352	20,596,380
無形固定資産		
のれん	1,012	485
ソフトウェア	888,107	749,158
その他	97,511	94,664
無形固定資産合計	986,631	844,307
投資その他の資産		
投資有価証券	426,532	391,905
繰延税金資産	2,368,259	2,009,071
その他	1,252,446	1,166,785
貸倒引当金	△146,841	△101,098
投資その他の資産合計	3,900,397	3,466,663
固定資産合計	25,671,381	24,907,351
資産合計	87,427,276	81,771,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,339,797	4,379,580
リース債務	7,238	10,177
未払金	3,280,105	3,028,395
未払法人税等	781,103	926,167
賞与引当金	329,611	314,506
返品調整引当金	1,033,114	1,020,015
その他	2,167,964	1,107,664
流動負債合計	11,938,935	10,786,506
固定負債		
リース債務	18,449	28,312
長期預り保証金	18,446,472	18,170,876
退職給付引当金	5,193,496	4,999,950
その他	234,697	185,359
固定負債合計	23,893,116	23,384,499
負債合計	35,832,051	34,171,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319,000	7,319,000
資本剰余金	6,809,798	3,484,620
利益剰余金	37,944,986	37,339,052
自己株式	△17	△33
株主資本合計	52,073,767	48,142,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,362	△2,509
為替換算調整勘定	△520,373	△575,318
その他の包括利益累計額合計	△502,010	△577,828
少数株主持分	23,468	35,430
純資産合計	51,595,224	47,600,241
負債純資産合計	87,427,276	81,771,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月22日 至平成23年6月21日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	13,136,031	13,078,221
売上原価	4,481,196	4,482,444
売上総利益	8,654,834	8,595,776
販売費及び一般管理費	6,901,891	6,698,638
営業利益	1,752,943	1,897,138
営業外収益		
受取利息	5,202	3,222
受取配当金	259	4,583
受取賃貸料	13,619	18,840
為替差益	—	2,788
その他	35,092	49,970
営業外収益合計	54,173	79,405
営業外費用		
為替差損	7,319	—
創立費償却	32,971	—
コミットメントフィー	429	3,024
その他	1,372	1,744
営業外費用合計	42,093	4,769
経常利益	1,765,023	1,971,775
特別利益		
固定資産売却益	—	67
投資有価証券売却益	4,700	—
貸倒引当金戻入額	48,505	—
災害損失修正額	13,389	—
特別利益合計	66,595	67
特別損失		
固定資産除売却損	5,546	14,254
減損損失	—	45,901
投資有価証券評価損	171	—
特別損失合計	5,717	60,156
税金等調整前四半期純利益	1,825,901	1,911,686
法人税、住民税及び事業税	880,678	786,619
法人税等調整額	△18,051	366,374
法人税等合計	862,627	1,152,993
少数株主損益調整前四半期純利益	963,274	758,693
少数株主利益	1,593	4,028
四半期純利益	961,681	754,664

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月22日 至平成23年6月21日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	963,274	758,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,542	△19,927
為替換算調整勘定	25,214	19,366
その他の包括利益合計	13,672	△560
四半期包括利益	976,946	758,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	974,782	753,405
少数株主に係る四半期包括利益	2,164	4,727

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月22日 至平成23年6月21日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,825,901	1,911,686
減価償却費	451,800	439,769
減損損失	—	45,901
のれん償却額	885	324
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67,857	△5,983
賞与引当金の増減額(△は減少)	△193,203	129,022
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6,314	△22,898
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,911	△139,194
受取利息及び受取配当金	△5,461	△7,805
為替差損益(△は益)	1,145	△3,217
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,700	—
投資有価証券評価損益(△は益)	171	—
固定資産除売却損益(△は益)	5,546	14,187
災害損失修正額	△13,389	—
売上債権の増減額(△は増加)	739,544	△642,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	222,311	838,570
仕入債務の増減額(△は減少)	145,173	△73,227
預り保証金の増減額(△は減少)	△233,300	△243,670
その他	△832,775	△592,648
小計	2,041,389	1,648,768
利息及び配当金の受取額	10,581	14,826
法人税等の支払額	△276,181	△679,772
預り源泉税の支払額	—	△1,300,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,775,788	△316,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,501,189	△23,277
定期預金の払戻による収入	2,500,000	24,330
投資有価証券の取得による支出	△811	△559
投資有価証券の売却による収入	13,400	—
有形固定資産の取得による支出	△79,368	△65,020
有形固定資産の売却による収入	6,925	54
無形固定資産の取得による支出	△770	△2,870
長期貸付金の回収による収入	96	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,718	△67,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△17	△3,325,193
配当金の支払額	△1,959	△1,299,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,977	△4,624,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,274	10,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,720,368	△4,997,485
現金及び現金同等物の期首残高	33,529,877	36,148,890
連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	76,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,250,246	31,228,321

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については37.9%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.5%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は296,539千円減少し、法人税等調整額は296,388千円増加しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項)

従来、決算日が9月20日であった国内連結子会社3社(株)ノエビア、(株)ボナンザ及び(株)ノエビアアビエーション)及び決算日が6月30日であった国内連結子会社2社(常盤薬品工業(株)及び(株)常盤メディカルサービス)につきましては、当事業年度より決算日を9月30日に変更しております。

また、従来、連結決算において6月30日現在の財務諸表を使用しておりました在外連結子会社につきましては、直接の親会社である(株)ノエビアの決算日を9月30日に変更したことに伴い、当事業年度より9月30日の財務諸表を使用する方法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間は、上記の各連結子会社の平成23年10月1日から平成23年12月31日までの3ヶ月間を連結しております。

なお、決算日変更に伴う上記の各連結子会社の平成23年9月21日から9月30日までの10日間または平成23年7月1日から9月30日までの3ヶ月間の損益は、利益剰余金に直接加減し、当該期間の現金及び現金同等物の増減については、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額」として表示しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月22日 至 平成23年6月21日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	9,682,105	2,793,290	660,635	13,136,031	—	13,136,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	41,529	41,529	△41,529	—
計	9,682,105	2,793,290	702,165	13,177,561	△41,529	13,136,031
セグメント利益又は損失(△)	2,209,796	△109,911	102,603	2,202,488	△449,545	1,752,943

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△449,545千円には、セグメント間取引消去39,153千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△488,699千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	9,571,510	3,354,657	152,053	13,078,221	—	13,078,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	37,809	37,809	△37,809	—
計	9,571,510	3,354,657	189,862	13,116,030	△37,809	13,078,221
セグメント利益又は損失(△)	2,295,502	△3,767	△5,260	2,286,474	△389,335	1,897,138

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△389,335千円には、セグメント間取引消去36,957千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△426,293千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化粧品事業」及び「医薬・食品事業」において、常盤薬品工業㈱東京本社の移転計画に伴い賃貸借契約を解除する見通しとなったため、減損損失45,901千円を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「化粧品事業」32,829千円、「医薬・食品事業」13,072千円であります。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年11月16日開催の取締役会において自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、平成23年11月17日に自己株式3,880,000株(3,325,160千円)を取得して、平成23年11月28日に自己株式3,880,020株(3,325,177千円)を消却いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,325,177千円減少しております。